

ご存じですか！文化財

50

「円空作 不動明王坐像」

市指定有形文化財
昭和55年3月12日指定



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1223)



所在地 中央2-7-12

呼ばれ、直線的で力強く、簡潔な彫りの中に、豊かで素朴な美しさを表しています。円空は生涯に12万体の仏像を彫ったといわれています。

大聖院の「円空作 不動明王坐像」は、総高29・2 cmの杉の木の一木造りで、頭頂部に蓮華をいだき、右手に宝剣、左手に絹索(数本の紐を束ね、輪のように巻いたもの)を持ち、岩に座っている不動明王像です。

表情は気品に満ち、宝剣は体についているが、一部に隙間があるなど、丁寧に仕上げられていて、埼玉県の大聖院の中でも優れた仏像の一つに挙げられています。

「円空仏」は、中央二丁目にある大聖院の「不動明王坐像」です。大聖院は、室町時代に開山光善によって建立された修験道の寺といわれ、現在は加須駅通りの家並みの裏に、小さなお堂を残すのみとなっています。

円空は、江戸時代前期、美濃国(岐阜県)に生まれ、諸国を巡り歩いた遊行僧で、常に鉈一丁を携え、木彫りの仏像を残しました。円空の掘った仏像は「円空仏」と



紹介者 宮崎勝也さん(北小浜)